

令和4年度

総会要項



新潟市学校事務研究協議会

令和3年度 活動報告

日時 ・ 会場	会 議	内 容
4～5月	各グループ	各グループ幹事選出
	理事	新役員（事務局・運営部員）選出
5月26日（水） 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ、活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
5月 中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会、小学校長会、弘済会、新学協、厚生財団、教職員共済への事業説明
6月 ※書面議決	総会	議事 活動報告、会計報告、活動計画、役員・予算書案の承認
7月15日（木）	第1回全体研修会	グランドデザイン提案
7月29日（木）～ ※全事研WEBによる配信	第27回全事研セミナー	文部科学省行政説明／研究大会（埼玉大会）PR／講義
8月 ※書面表決	全事研総会	議事 活動報告、決算報告・監査報告、役員選出、活動計画、予算審議等
8月19日（木）～9月30日（木） 書面開催	政令指定都市学校事務 職員研究協議会	分科会協議／全体会（分科会報告）
10月19日（火） オンライン開催	研修部主催セミナー	講演「働く場改革から始める働き方改革」 講師：横浜市立日枝小学校 学校事務職員 上部 充敬 様
11月8日（月） 新学協本部会議室	第1回役員会及び 第2回理事会	研修セミナー振り返り 第2回全体研修会について検討
11月19日（金） 万代市民会館	全事研新潟支部事務連 絡会	協議 活動中間報告、会計中間報告、意見交換
	厚生財団、新学協・教育 用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等（新事研と合同）
12月15日（水）～ 共同実施単位での開催	第2回全体研修会	講演「新潟市の共同実施について」 講師：新潟市教育委員会学校人事課 管理主事 佐野 公則 様
1月17日（月） 新学協本部会議室	第3回理事会	役員募集について検討 次年度計画
1月11日（火）～2月18日（金） オンライン開催	第53回全事研研究大 会（埼玉大会）	文部科学省行政説明／全体研究会／分科会／シンポジウム
5月11日（水）	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

令和3年度 事務局 活動評価

活動目標	円滑な組織運営を行い、会員への広報活動に努め、会員相互の情報共有や交流が深まるようにする。	
活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
全体運営、事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市事研全体の総括 ※会長、副会長と連携 ・年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理 ・事務局の活動評価の実施および考察 	【成果】 ・組織編成や会則改正に向けた検討を行うことができた。
		【次年度へ】 ・組織編成や会則改正について、総会で会員へ提案する。
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録 ・役員会の準備、運営 ※司会は副会長輪番 会場予約、日程調整、派遣依頼 ・総会の準備、運営 ・その他の研修会 会場予約、減免申請 	【成果】 ・書面決議による総会を、滞りなく運営することができた。
		【次年度へ】 ・オンラインを積極的に活用し、研修会等が開催できるようにする。
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・予算書立案及び執行管理、会計監査対応 ・各種団体への助成金申請、報告書提出 ・会員名簿の作成及び管理、会費集金業務 	【成果】 ・役員会の中止に伴い、旅費等の支払いを振込みでおこなった。
		【課題】 ・助成金の申請が遅れてしまった。
		【次年度へ】 ・助成金の申請時期が団体によって異なるため、申請し忘れを防ぐため、引継ぎを確実にを行う。
記録・広報活動及び情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議の記録 ・要覧(沿革)の作成、活動記録・会則・組織図の保管 ・会員(グループ幹事)への連絡 ・Web 開設の検討 	【成果】 ・Web サイトの開設準備が進んだ。 ・タイトなスケジュールの中、要覧の作成ができ、全体研修会で配付できた。
		【課題】 ・会員への連絡方法が徹底されていなかった。
		【次年度へ】 ・総会までに Web サイトの公開を目指す。 ・会員への連絡方法を再度検討する必要がある。
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・全事研新潟支部(新事研)との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力 ・他団体との連携 	【成果】 新事研・他団体と有意義な情報交換ができた。

令和3年度 研究部 活動評価

活動目標	すべての会員が研究テーマに取り組める方法を研究する。
------	----------------------------

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
研究テーマの推進	・ランドデザインの発表及び定着	【成果】 ・会員の意見を組み入れたランドデザインを策定し、理解を深めるために会員へ内容説明を兼ねた研修が実施できた。
		【課題】 ・4つの視点の設定の意図や具体性の定着が不足していた。
		【次年度へ】 ・調査結果を基に、定着に向けたさらなる方策を検討し、会員の理解を深め活動を推進する。
情報戦略	・情報発信 市事研活動や全事研活動の様子、他市町村などの最新情報を、様々な形で提供する。	【成果】 ・調査の実施により、今後の活動に生かせる経年変化の様子と意識の変容が収集できた。 ・タイムリーな市事研活動の様子や会員からの寄稿を増やした研究部通信を発刊したことで、一体感を生む情報発信ができた。
		【課題】 ・会員の疑問や要望を聞く体制及び会員からの声を広げる方策が不足していた。
		【次年度へ】 ・HP や ICT 機器を活用して、双方向サービスの確立を目指す。
	・情報収集 会員の疑問や要望を広く収集する。 全事研及び新事研などの他団体との交流により、多様な研究成果を収集する。	
	・情報分析 調査の分析などから、現在の位置を把握し、これから着手すべき項目を見定め、予測と仮説の立案に生かす。	

研究テーマは、研究部が会員に提案するだけでなく、会員一人ひとりが「何のために学校にいるのか」「学校でどのように取り組んだら良いか」を主体的に考え行動していくものです。それを研究部がまとめて提案していくことで、市内全体で共有し、ともに取り組んでいきたいと考えています。

令和3年度 研修部 活動評価

活動目標	会員のニーズに応えながら、他ではできない魅力的な研修を考え、企画・運営する。
------	--

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
研究テーマに沿った 研修会の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修会にかかわる業務内容の確認・運営 ・会場との連絡調整、設営 ・実践発表の機会を設定 ・参加者アンケートの集約、考察 ・役員アンケートの集約、改善事項の検討 ・記録写真撮影、管理 	【成果】 ・グランドデザインに沿った研修会が開催できた。 ・共同学校事務室で対話を重視した研修会は会員にとって有意義だった。
		【課題】 ・実践発表の機会を設定することができなかった。 ・時間的な余裕がなく計画的に進めることができなかった ・各部との連携やグループ幹事への周知がうまくできなかった。
		【次年度へ】 ・早い段階で研修形態を決定し、各部と連携を図り、協働・分担できるよう準備する
セミナーの企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーに関わる業務内容の確認・運営 ・講師との連絡調整 ・会場との連絡調整、設営 ・参加者アンケートの集約、考察 ・記録写真撮影、管理 	【成果】 ・他県の学校事務職員の方から貴重な実践例を聞くことができ参加者からも好評であった。 ・講師との打ち合わせも、セミナー当日もすべてオンラインだったが、スムーズに行うことができた。
		【課題】 ・昨年に引き続き ZOOM のアカウントを借用し開催している現状である。また、各校の PC 室がなくなったため総合教育センターを借りなければならなかった。
		【次年度へ】 ・アンケートを分析し、会員のニーズにあった企画を考える。 ・運営側はさらに ZOOM の操作を学ぶ必要がある。

令和3年度 新潟市学校事務研究協議会会計 決算書

1 収入の部 △は減 新潟市学校事務研究協議会

	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 繰越金	618,691	618,691	0	前年度からの繰り越し
2 会費	404,000	424,020	20,020	(会費2,000円×会員202名)+(新事研究会費4,500円×会員4名)+(会費1,000円×賛助会員4名)-振込手数料1,980円
3 補助金	470,000	470,000	0	新学協・教職員共済・厚生財団・弘済会より研究助成金・教職員共済よりお祝い金
4 雑収入	5	8	3	預金利息
合計	1,492,696	1,512,719	20,023	

2 支出の部

項	費目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1	運営費	345,000	138,825	△ 206,175	
	会議費	50,000	0	△ 50,000	
	消耗品費	150,000	5,165	△ 144,835	リングファイル、名刺用紙
	印刷費	140,000	133,100	△ 6,900	令和3年度新潟市事研要覧、グランドデザイン、封筒
	役務費	5,000	560	△ 4,440	団体助成申請書 郵送料 セミナー派遣申請 郵送料
2	運営部活動費	195,000	83,222	△ 111,778	
	事務局費	65,000	14,828	△ 50,172	事務局活動費・事務局会旅費
	研究部費	65,000	38,814	△ 26,186	研究部活動費・研究部会旅費
	研修部費	65,000	29,580	△ 35,420	研修部活動費・研修部会旅費
3	研究会運営費	220,000	55,372	△ 164,628	
	会場費	100,000	0	△ 100,000	
	報償費・旅費	100,000	10,418	△ 89,582	10/19セミナー講師手土産代 第2回全体研修会講師手土産代
	研修会消耗品費	20,000	44,954	24,954	養生テープ、鉛筆、DVD、リングマウス、付箋
4	研究助成費	300,000	15,000	△ 285,000	
	研究会等参加費	50,000	5,000	△ 45,000	大阪府公立学校事務研究大会 長崎県公立小中学校事務職員研究会セミナー 北九州市立学校事務研究協議会研究大会
	補助研究費	250,000	10,000	△ 240,000	自主研究補助
5	旅費	112,000	40,072	△ 71,928	
	役員旅費	60,000	40,072	△ 19,928	理事会・役員会・事務連絡会 旅費
	研究会等参加旅費	50,000	0	△ 50,000	
	その他旅費	2,000	0	△ 2,000	
6	負担金	202,000	220,000	18,000	
	負担金	202,000	220,000	18,000	令和3年度全事研究会費(1,000円×202名) 令和3年度新事研究会費(4,500円×4名)
7	予備費	118,696	189,640	70,944	
	予備費	118,696	189,640	70,944	ホームページ契約初期費用、振込手数料
合計		1,492,696	742,131	△ 750,565	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)
 1,512,719円 - 742,131円 = 770,588円 (残額につきましては次年度へ繰り越しいたします)
 上記のとおり報告いたします。 会長 笹川 富美子 印 会計係 三原 沙弥佳 印

令和3年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1 諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2 予算執行が適正であることを認めます。

令和4年5月11日 会計監事 若槻 純子 印 関川 竜太 印

令和3年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 決算書

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 繰越金	464,934	464,934	0	前年度繰越金
2 会費	707,000	690,000	△ 17,000	会員1,000円×690名 (新潟市202、新潟市以外488)
3 雑収入	66	5	△ 61	利息
合計	1,172,000	1,154,939	△ 17,061	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 運営費	50,000	40,491	△ 9,509	
役務費	20,000	6,303	△ 13,697	全事研会報送料 他
消耗品費	30,000	34,188	4,188	プリンタートナー、マスター
2 研究助成費	90,000	0	△ 90,000	
補助研究費	90,000	0	△ 90,000	
3 旅費	270,000	0	△ 270,000	
全事研役員旅費	170,000	0	△ 170,000	
大会派遣旅費	100,000	0	△ 100,000	
4 会費・負担金	330,000	325,000	△ 5,000	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費 (320名分)
北越地区負担金	10,000	5,000	△ 5,000	R2 北越地区負担金
5 予備費	432,000	0	△ 432,000	
予備費	432,000	0	△ 432,000	
合計	1,172,000	365,491	△ 806,509	

3 残高の部

(収入総額)

(支出総額)

(残高)

1,154,939円 - 365,491円 = 789,448円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします。)

上記のとおり報告いたします。 会長 外山 敏美 印 会計係 村島 由梨奈 印

令和3年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1、諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2、予算執行が適正であることを認めます。

令和4年3月11日

会計監事

遠藤 克哉 印

甲斐 圭子 印

令和4年度 新潟市学校事務研究協議会 役員名簿

会長	笹川富美子 (鳥屋野中学校) 政令市事務研新潟市代表、教職員共済幹事	
副会長	風間 和子 (小針中学校) 新学協常任理事	大原 恵子 (亀田中学校) 全事研新潟支部評議員、政令指定都市定例会実行委員長
会計監事	三浦 孝慈 (新潟柳都中学校)	岡村 昇 (女池小学校)

	事務局	研究部	研修部
局長・部長	日南田江利奈 (大淵小学校) ※継続・新局長	富 樫 拓也 (新津第二中学校) ※継続	齋 藤 奉 (五十嵐小学校) ※継続・新部長
次長・副部長	渡 邊 沙 弥 佳 (濁川小学校) ※継続・新次長	岩 倉 な つ み (牡丹山小学校) ※継続・新副部長	加 藤 恵 子 (日和山小学校) ※継続・新副部長
局員・部員	鍋 倉 佑 季 (岡方第一小学校) ※新任	平 原 苑 子 (女池小学校) ※継続	菊 田 恵 里 (白根第一中学校) ※継続
	谷 諤 子 (寄居中学校) ※新任	阿 部 風 紗 (濁川中学校) ※継続	植 木 克 巳 (上山中学校) ※新任
	近 藤 美 香 (大形中学校) ※新任	神 田 千 春 (西特別支援学校) ※新任	坂 上 匠 (矢代田小学校) ※新任
	田 邊 直 人 (坂井輪中学校) ※新任	飯 塚 恵 (内野小学校) ※新任	宮 崎 弥 紀 子 (木戸中学校) ※新任
	広報室(新設)		
室長	渡 部 慎 (小針小学校)		
室員	丸 谷 大 貴 (新津第三小学校)		
	皆 川 唯 花 (白南中学校)		

令和4年度 新潟市学校事務研究協議会 グループ幹事

	1グループ	2グループ	3グループ
北区	飛 田 萌 (木崎中学校)	大 西 宣 生 (豊栄南小学校)	
東・中央区	山 田 優 香 梨 (沼垂小学校)	小 檜 山 瞳 (藤見中学校)	大 野 有 紀 (石山中学校)
中央区	小 林 郁 未 (関屋小学校)	伊 豆 野 梨 花 (上山中学校)	吉 原 恵 介 (明鏡高等学校)
江南区	若 槻 純 子 (横越中学校)	高 木 優 (両川小学校)	
秋葉区	田 中 潤 (小合中学校)	小 柳 芽 生 (新関小学校)	
南区	田 邊 し お り (小林小学校)	田 中 里 歩 (味方中学校)	
西区	清 水 ま ど か (真砂小学校)	福 島 典 子 (木山小学校)	山 田 紗 瑛 (立仏小学校)
西蒲区	小 林 公 見 子 (岩室小学校)	森 貴 史 (鎧郷小学校)	

令和4年度 活動計画

日時 ・ 会場	会 議	内 容
4～5月	各グループ	各グループ幹事選出
	理事	新役員（事務局・運営部員）選出
5月 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ，活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
5月 中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会，小学校長会，弘済会，新学協，厚生財団，教職員共済への事業説明
6月 新学協本部会議室	第1回部会	総会運営について確認 役割分担・年間活動予定の確認
6月 ※書面議決	総会	議事 活動報告，会計報告，活動計画，役員・予算書案の承認
7月 新学協本部会議室	第1回役員会	令和4年度活動について検討
7月	研修部主催セミナー	未定
7～9月 新学協本部会議室	第2回理事会	総会の記録・反省 研修セミナー，第1回研修会企画及び運営計画の検討
7月29日（木）～ ※全事研WEBによる配信	第27回全事研セミナー	文部科学省行政説明／研究大会（埼玉大会）PR／講義
8月 ※書面表決	全事研総会	議事 活動報告，決算報告・監査報告，役員選出，活動計画，予算審議等
8月18日（木）～19日（金） 北九州市立教育センター	政令指定都市学校事務 職員研究協議会	分科会協議／全体会（分科会報告）
9月	第1回全体研修会	未定
9月 新学協本部会議室	第2回役員会	第2回全体研修会・運営の確認
10月	研修部主催セミナー	未定
11月	第2回全体研修会	未定
11月18日（金） 万代市民会館	全事研新潟支部事務連 絡会	協議 活動中間報告，会計中間報告，意見交換
	厚生財団、新学協・教育 用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等（新事研と合同）
12月	研修部主催セミナー	未定
1月 新学協本部会議室	第3回理事会	全体研修のまとめと今後の活動検討
1月26日（木）～27日（金） 愛媛県民文化会館 ほか	第54回全事研研究大 会（愛媛大会）	文部科学省行政説明／全体研究会／分科会／シンポジウム
2月 新学協本部会議室	第3回役員会	活動反省，次年度の活動計画，研究テーマ，内容の協議
2月	全事研評議員会	全事研評議員会
2月	全事研セミナー	文科省行政説明／全国大会PR／全事研活動報告／講義
3月	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

注）現時点での活動計画のため延期又は中止等変更になる場合があります。

令和4年度 事務局活動計画

活動目標	円滑な組織運営を行い、会員への広報活動に努め、会員相互の情報共有や交流が深まるようにする。
------	---

活動項目	具体的な内容
全体運営、事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> ○市事研全体の総括 ※会長、副会長と連携 ○年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理 ○事務局の活動評価の実施および考察
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録 ○役員会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録 ○総会の準備、運営
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ○予算書立案及び執行管理、会計監査対応 ○各種団体への助成金申請、報告書提出 ○会員名簿の作成及び管理、会費集金業務
記録・広報活動及び情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議の記録 ○要覧(沿革)の作成、活動記録・会則・組織図の保管 ○会員(グループ幹事)への連絡
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○全事研新潟支部(新事研)との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力 ○他団体との連携

令和4年度 研究部活動計画

活動目標	全会員で研究テーマに迫る方法を探る(わたしたちの最適解)
------	------------------------------

活動項目	具体的な内容
情報分析	社会情勢から学校事務の変化を予測し, 調査分析から経年変化や意識の変容を確認して, 新潟市における学校事務の未来を考察する。(希望・備え)
研究テーマの推進	グランドデザインの4視点の意図や具体例を示し, 会員の理解をより深める方策を検討する。(共感・学び合い)

研究テーマは、研究部が会員に提案するだけではなく、会員一人ひとりが「何のために学校にいるのか」「学校でどのように取り組んだら良いか」を主体的に考え行動していくものです。それを研究部がまとめて提案していくことで、市内全体で共有し、ともに取り組んでいきたいと考えています。

令和4年度 研修部活動計画

活動目標	会員の想いをカタチ(実践)にすることや個のキャリアビジョンを描けるように「学び」の場をプロデュースする。
------	--

活動項目	具体的な内容
学び合い・高め合いの場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ推進のための研修会を企画・運営 ・個のスキルアップのためのセミナーを企画・運営 ・共感(共創)・提案の場を設定 ・参加者・役員アンケートの集約, 改善事項の検討



新潟市学校事務研究協議会

令和4年度 研修計画

新潟市教育ビジョン達成に向けて

学校の新しい風になろう

◆新潟市学校事務研究協議会がめざす学校事務職員像◆

MVPsとして 地域とともにある学校づくりを推進する学校事務職員
学校を核とした地域

「事務をつかさどる」職である私たちは、一人一人が当事者として課題に向き合い協働します。新しい価値を創る「**個の違い**」を大切に、やる気と熱意をもって行動し、学び続けます。 ※グラウンドデザインより



日々の実践と「学び」を循環することで力量形成を図っています。新潟市学校事務研究協議会での「学び」には、意識改革と広がり・つながりがあります。一人一人なりたいたい姿や成長したいという思いを大切に、個のキャリアビジョン形成と組織全体の活性化につなげます。

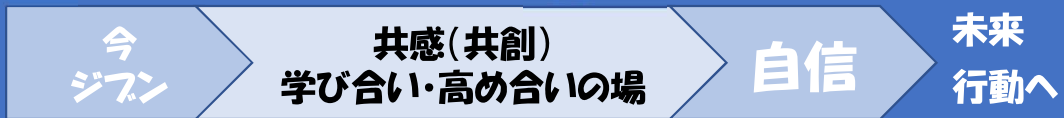
視点1 カリキュラム・マネジメントの推進

視点2 地域協働の推進

※今年度の研修会の切り口

視点3 共同学校事務室でチャレンジ

視点4 スペシャリティの向上



モチベーションUP
やる気UP



全体研修会

- ・研究（調査結果）から提案したり、実践を紹介したりする。
- ・知識理解を深め、情報を共有する。
- ・全会員参加型

スキルUP レベルUP

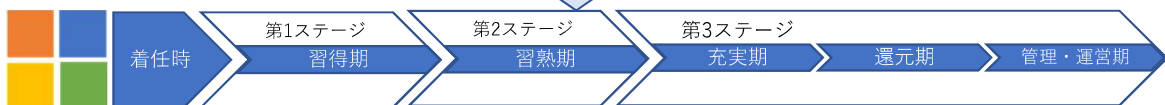


セミナー

- ・各個人が身につけたい力・スキルアップを目的とし、専門性を高める。
- ・講師を招き、外部企業の取組や社会全体の動きなど、視野を広げる。
- ・希望制

タテとヨコのつながりUP

交流・ワークショップ ※ステージごと(職位別)/ステージ(職位)間



—新潟市教職員の資質向上に関する指標—

◆新潟市がめざす学校事務職員像◆ 『すべてはこどもたちのために』

令和4年度 広報室活動計画

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動を通して会員や関係機関との持続的かつ良好な関係構築を図る。 ・ 会員が様々な情報から知識を広げ，学校事務職員としての視野を広げるための広報活動を展開する。
------	--

活動項目	具体的な内容
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市事研会報の発行 組織内の情報循環のため，市事研活動の様子をはじめ，様々な情報を提供する。（市事研会報年5回） ・ 新採用ガイダンスの実施 市事研活動への理解を図るためにガイダンスを実施する。 ・ HPの運営管理 社会に向けて市事研活動を発信する。また会員専用のデータベースとしての役割を果たす。
情報受信	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート活動 会員の声を広く収集し，組織運営に活かす。 ・ 情報収集 全事研及び新事研などの他団体との交流等により多様な情報を収集する。

令和4年度 新潟市学校事務研究協議会 予算書

1 収入の部

(単位：円)

項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	付 記
1 繰越金	770,588	618,691	151,897	前年度からの繰り越し
2 会費	404,000	404,000	0	会員2,000円×202名
3 補助金	470,000	470,000	0	団体研究助成金
4 雑収入	5	5	0	預金利息
合 計	1,644,593	1,492,696	151,897	

2 支出の部

(単位：円)

項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	付 記
1 運営費	450,000	345,000	105,000	
会議費	50,000	50,000	0	事務連絡会参加補助費
消耗品費	50,000	150,000	△ 100,000	封筒, 用紙代
印刷費	200,000	140,000	60,000	令和4年度新潟市事研要覧代・封筒代・広報・名刺
役務費	150,000	5,000	145,000	郵送料, ホームページ保守管理費
2 運営部活動費	280,000	195,000	85,000	
事務局費	70,000	65,000	5,000	活動費
研究部費	70,000	65,000	5,000	活動費
研修部費	70,000	65,000	5,000	活動費
広報室費	70,000	0	70,000	活動費
3 研究会運営費	260,000	220,000	40,000	
会場費	100,000	100,000	0	研究会会場・機器設備使用料, 接待茶葉 他
報償費・旅費	100,000	100,000	0	来賓旅費, 講師謝礼・旅費
研究会消耗品費	60,000	20,000	40,000	印刷消耗品 他
4 研究助成費	300,000	300,000	0	
研究会等参加費	250,000	50,000	200,000	研究会等参加費・資料代
補助研究費	50,000	250,000	△ 200,000	自主研究補助
5 旅費	117,000	112,000	5,000	
役員旅費	65,000	60,000	5,000	理事会・役員会旅費
研究会等参加旅費	50,000	50,000	0	研究会等派遣
その他旅費	2,000	2,000	0	駐車場代 他
6 負担金	202,000	202,000	0	
負担金	202,000	202,000	0	全事研会費 202,000円(1,000円×202名)
7 予備費	35,593	118,696	△ 83,103	
予備費	35,593	118,696	△ 83,103	
合 計	1,644,593	1,492,696	151,897	

新潟市学校事務研究協議会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は新潟市学校事務研究協議会と称する。

(本部)

第2条 本会の本部は会長の勤務する学校に置く。事務局は事務局長の勤務する学校に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の連絡提携を密にし、学校教育充実のため学校事務職員としての職務能力を高め、学校事務の向上に努めることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学校事務の研究, 調査に関すること。
- (2) 会員の研修に関すること。
- (3) 会員の地位向上に関すること。
- (4) 本会と目的を共有する他団体との連絡提携に関すること。
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組 織

(会員)

第5条 本会は新潟市公立学校の事務職員をもって構成する。

2 会員以外で本会の趣旨に賛同する者を賛助会員とする。

第3章 機 関

(機関の設置)

第6条 本会は次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 役員会

(総会)

第7条 総会は本会の最高議決機関で、全会員をもって構成する。

- 2 総会の成立は会員の過半数の出席とし、決議は出席者の過半数とする。
- 3 総会は毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めた時及び理事会の要請があった場合、または会員の3分の2以上の要求がある時は臨時に開催することができる。
- 4 総会の議決事項は次のとおりとする。
 - (1) 会則の改正
 - (2) 事業計画の審議・事業報告の承認
 - (3) 予算の審議・決算の承認

- (4) 役員の承認
 - (5) その他重要な事項
- (理事会)

第8条 本会の会務を執行するため理事会を置く。

2 理事会は会長、副会長、理事及び事務局員、顧問をもって構成する。理事は、事務局長、事務局次長及び専門部長、広報室長並びに専門部副部長とする。また必要により理事会に助言者等を招致することができる。

(事務局・専門部)

第9条 前条に掲げる理事会に事務局と次の専門部を置く。

- (1) 事務局
- (2) 研究部
- (3) 研修部
- (4) 広報室**

2 前項の局に局長及び次長を、部に部長及び副部長、室に室長を置く。

3 事務局・研究部・研修部・広報室は細則で定めた事項を行う。

4 専門部には必要により助言者等を招致することができる。

第4章 役員

(役員の種類と選出方法)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1～2名
- (3) 理事 **7名**
- (4) 専門部員 **15名**程度

2 役員の選出は次の方法による。

(1) 会長及び副会長は理事会が推薦し、総会において承認を受ける。

(2) 理事は会長が推薦し、総会で承認を受ける。

(3) 事務局の局員、研究部・研修部の部員及び広報室の室員は、立候補及び推薦による候補者の中から理事会が選出し、会長が委嘱する。

3 役員は会計監事を兼ねることができない。

(会計監事)

第11条 本会に会計監事2名を置く。

2 会計監事は会長が推薦し、総会において承認を受ける。

3 会計監事は役員を兼ねることができない。

(顧問)

第12条 本会に顧問を置くことができる。

2 顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(任務)

第13条 役員、会計監事及び顧問の任務は次のとおりとする。

(1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。

(2) 副会長は会長を補佐し、会長の事故ある時はこれを代理する。

(3) 事務局長、専門部長及び**広報室長**は事務局並びに各部・室の業務を統括する。事務局次長、専門部副部長は部長を補佐し、局長並びに部長に事故ある時はこれを代理する。

(4) 専門部員は各部の業務を処理する。

(5) 会計監事は本会の会計を監査し、総会に報告する。

(任期)

第14条 役員の任期は2年、会計監事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(解任)

第15条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の議決により、これを解任することができる。

(1) 心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。

(2) その他解任に相当する事項が認められるとき。

第5章 会 計

(会費)

第16条 本会の経費は会費及びその他の収入をもってあてる。

(年度)

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第6章 附 則

(細則)

第18条 本会の会務執行に必要な細則は別に定める。

(会則改正)

第19条 本会の会則改正は総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(会則施行)

第20条 本会の会則は平成29年7月19日から施行する。

細 則

第1項 事務局並びに専門部の活動は、当該年度の活動計画によることとする。

(1) 事務局

(2) 研究部

(3) 研修部

(4) 広報室

第2項 全国公立小中学校事務職員研究会（以下、「全事研」という。）について

新潟市学校事務研究協議会（以下、「新潟市事研」という。）は新潟県学校事務研究協議会（以下、「新事研」という。）と連携・協議し、全事研新潟県支部として活動する。

- ・全事研の新潟県支部長は、新事研会長がこの任にあたり、新潟市事研の代表者は評議員としてその任にあたる。
- ・全事研の評議員は、全事研の総会及び評議員会に出席し、決議機関員として活動する。また全事研の地区委員会及び新事研との連絡調整にあたる。

第3項 北越地区公立小中学校事務職員研究会について

- ・北越地区公立小中学校事務職員研究会の新潟支部長は、新事研会長がこの任にあたり、同評議委員は新事研副会長がこの任にあたる。
- ・新潟支部長及び評議委員は、北越地区公立小中学校事務職員研究会の評議委員会・連絡会に出席し、決議機関員として活動する。

平成30年6月28日改正

令和4年6月27日改正

内規

◎ 令和3年度からの担当業務

業務内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
会計監事 (2名)	江南区	中央区	東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区
議長 副議長		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区
議事記録		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区

令和4年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 予算書

1 収入の部 △は減 (単位:円)

項目	4年度予算額	3年度予算額	比較増減	付記
1 繰越金	789,448	464,934	324,514	
2 会費	690,000	707,000	△ 17,000	会員1,000円×690名
3 雑収入	52	66	△ 14	預金利息
合計	1,479,500	1,172,000	307,500	

2 支出の部 △は減 (単位:円)

項目	4年度予算額	3年度予算額	比較増減	付記
1 運営費	60,000	50,000	10,000	
役務費	15,000	20,000	△ 5,000	全事研会報送料
消耗品費	35,000	30,000	5,000	印刷消耗品
支部活動会場費	10,000	0	10,000	新潟市事研との交流会会場料
2 研究助成費	50,000	90,000	△ 40,000	
補助研究費	50,000	90,000	△ 40,000	全事研セミナー参加奨励金
3 旅費	440,000	270,000	170,000	
全事研役員旅費	120,000	170,000	△ 50,000	全事研総会、全事研評議員会、北越評議委員会、全事研役員
大会派遣旅費	300,000	100,000	200,000	全事研大会派遣
支部活動旅費	20,000	0	20,000	
4 会費・負担金	325,000	330,000	△ 5,000	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費 (320名分)
北越地区負担金	5,000	10,000	△ 5,000	北越地区負担金
5 予備費	604,500	432,000	172,500	
予備費	604,500	432,000	172,500	
合計	1,479,500	1,172,000	307,500	

新潟市学校事務研究協議会組織図

